

「指導者にとって大切なこと」は何かを考える

—特別支援学校高等部でのサッカー—実践から—



4月埼玉支部例会

- 2021年4月10日(土)
- 講師： 靱山潤氏 (川越特別支援学校)
- 場所： HIBIKICAFE @ZOOM
- 14:00～17:00

毎月講座を開きます！

2022年夏
学校体育研究同志会は
飯能大会
を開催予定です。
大会に向けて連続講座
を開催中。どなたでも
参加できます。
一緒に学びませんか？

13:40～受付 ※カフェZOOMともに

コロナ禍の開催ですので、ZOOMでのご参加を推奨しております。操作に不安がある方は事前にご連絡くださいませ。

私は授業を通して何かを伝えたり、彼らの心を動かしたりしたいと思っています。しかし、「授業はこれでいいのだろうか」と思ったり、「自分の思っていることを生徒に伝えるのはこんなにも難しいのか」と感じたり、中々上手くいかない日々を送っています。今回は、私がサッカーの授業で取り組んだ内容や生徒達の反応を振り返りながら、報告させて頂きたいと思います。

生徒達と過ごしていると、いつも考えることがあります。それは指導者として、あるいは1人の人間として、「大切なことは何だろうか」ということです。それはつまるところ、「教育とは何だろうか」という壮大な問いに繋がると思っています。そんな問いをじっくりと追求していける学びの場となるように、一生懸命話したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

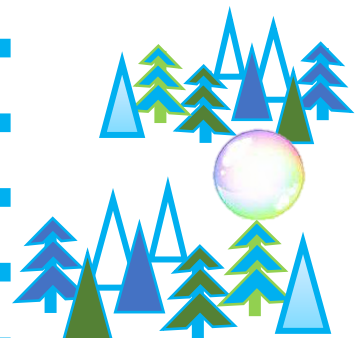
※夏号たのスポ掲載予定。支部例会で実践内容を発表します。

お問い合わせ：埼玉支部メールアドレス doushikaisaitama@gmail.com

事務局長西元：080-3344-3368

受付は右記のQRコード(下記URLのもの)へお願いします！

<https://docs.google.com/forms/d/1wGzdoU8GQY6HwYnZfSZsobvLL1tcbu89BxH2gY0qNzg/edit>



受付はこちら！

フォームにて受付いただいた後、ZOOMのURL等々をお送りいたします。円滑な運営につながりますので、ぜひ入力にご協力くださいませ。

